

公募説明会

対象テーマ：

「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／
ロボティクス分野におけるソフトウェア開発基盤構築」

2026年9月29日

経済産業省

商務情報政策局 AI産業戦略課 AIロボティクス室

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

AI・ロボット部 人機械共進化チーム

9月29日（火）10:00～11:00

説明内容		説明者
1	研究開発計画、事業概要	経済産業省
2	公募要領	NEDO
3	提出書類	NEDO
4	応募方法	NEDO
5	質疑応答	経済産業省/NEDO

背景

- 従来のロボティクスは、ある環境で決まったタスクを正確かつ安定的に行う高い信頼性が確保されている一方、開発の柔軟性の低さや異なった環境における自律的判断が困難。そのため、少量多品種市場（ロングテール市場）に対応するには、個々のニーズに応じたそれぞれのロボットを開発する必要があり、長期の開発期間と高コスト構造から困難が生じている。
- ロボットの高コスト構造を解消するため、多様なユースケースで活躍可能な多用途ロボットの開発が不可欠。AIの発展により、①多様な動作の実現、②人と接する等の複雑な環境への対応も可能な多用途ロボットの開発が期待できる。

既存ロボットの開発・導入の課題

開発制約

ロボットのハード・ソフトが
一体化しており、
開発の柔軟性が低い

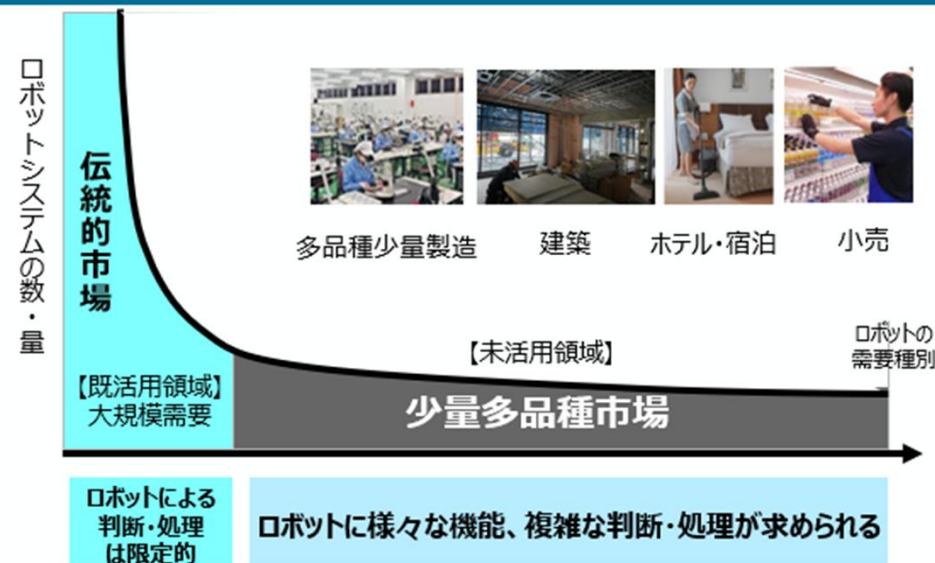
技術制約

周囲の環境等に合わせて
自律的に判断・動作を
行うことが困難

ロボットのハード・ソフトの
切り分け・分割化による
汎用性・拡張性の革新

高度なAIの融合による
自律性・拡張性・操作性
の革新

ロボットの導入市場

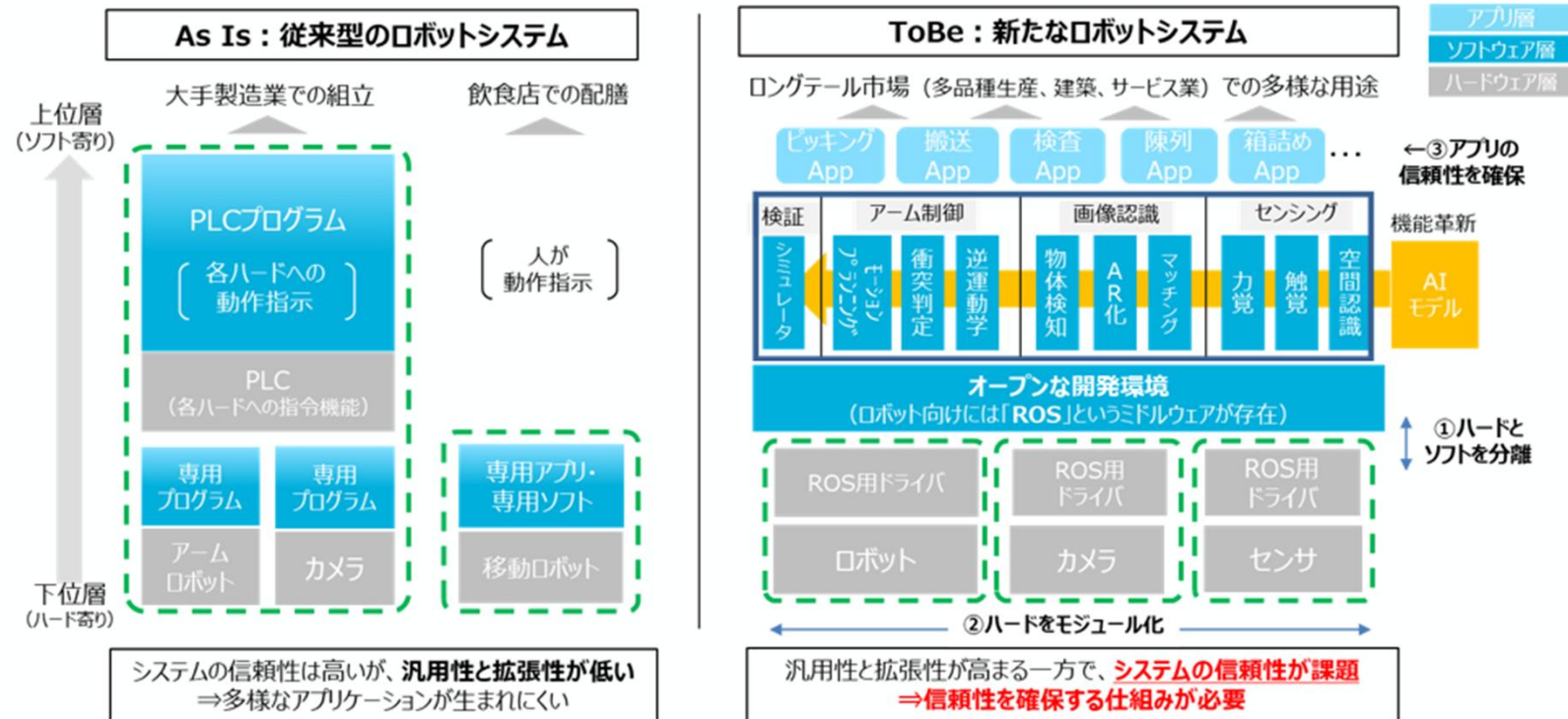


本事業が目指すソフトウェア開発エコシステム

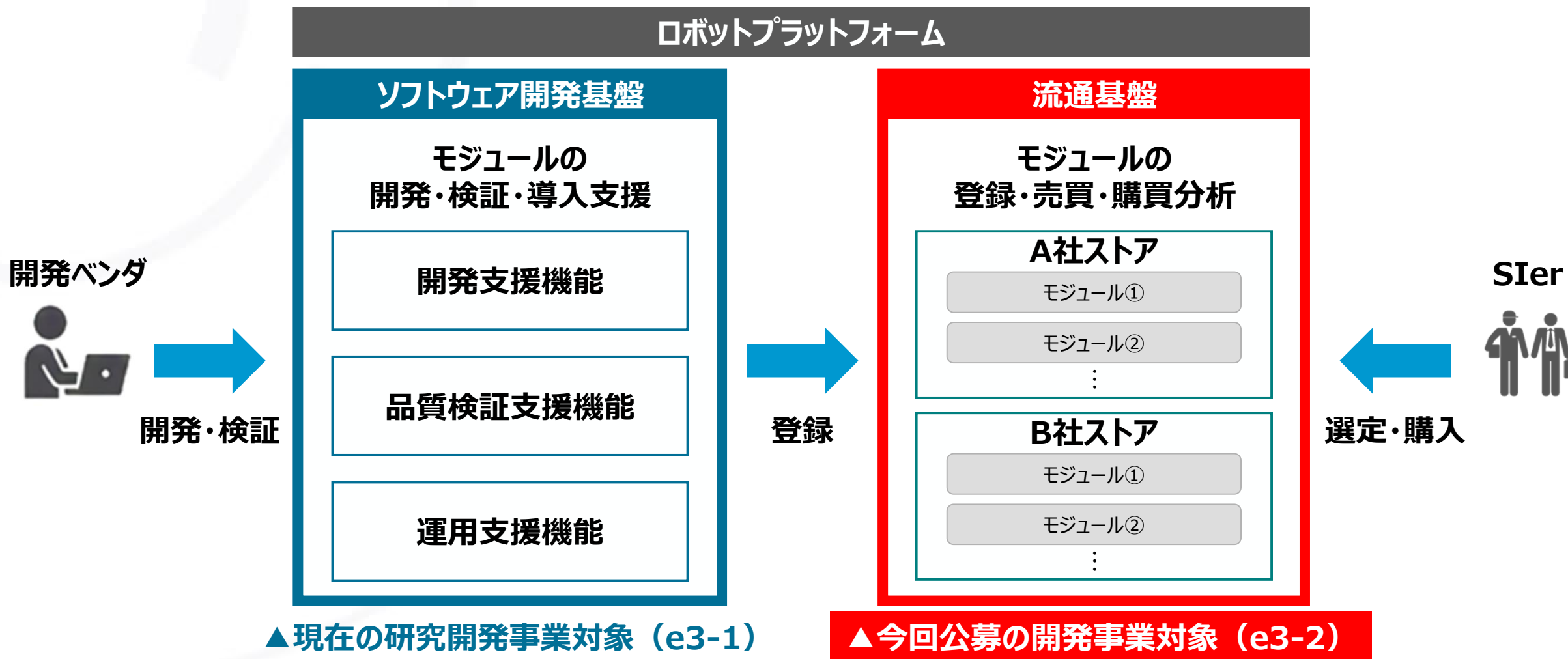
経済産業省「評価報告書一覧（令和8年度）」公開資料より
https://www.meti.go.jp/policy/tech_evaluation/e00/03/r08/655.pdf



- ソフト・ハードが垂直統合した現在の開発基盤では汎用性・拡張性が乏しい。
- 少量多品種市場での国産ロボット供給に向け、既存のオープン開発環境を活用しつつ、その課題である、**ソフトウェアの信頼性・安定性を検証・選別する基盤を新たに構築**する。
- 高い国際競争力・信頼性を持つ国内ロボメーカーと共に、ハードウェアのオープン化に向けた投資を推進し、供給制約を解消。 ※懸念国対策としても必須。



開発ベンダがソフトウェア開発基盤を活用して開発したモジュールを流通基盤に登録し、SIerが選定・購入できるようにする



- 本開発テーマでは、ロボティクス分野において、スタートアップ等の多様な開発者の参入を促し、多彩なロボットシステムを創出することを可能とするソフトウェア開発基盤の構築に取り組む。具体的には、オープンかつ共通言語でのソフトウェアを活用しつつ、産業用途で活用可能なソフトウェア品質であることを検証・スクリーニング機能により担保する基盤技術を開発するとともに、それら技術をソフトウェアやハードウェアの流通基盤に統合することで、ロボティクス分野におけるソフトウェア開発基盤を実装させる。これにより、人手不足解消や生産性向上に資するとともに、ポスト5G情報通信システムの活用拡大を通じたデジタル社会の実現につなげる。本事業で開発する基盤技術は、ロボティクス分野における多様なプレイヤーが共通することでその価値を最大限に創出することができる公共財的な性質を持つため、委託事業として実施する必要がある。
- 以下、(e3-1)、**(e3-2)**の実施においては、事業者の合議体を設置し、経済産業省やNEDO等も含めて議論した上で(e3)全体の開発方針を決定し、各開発テーマが密に連携しながら取り組むこととする。なお、ソフトウェア開発基盤のミドルウェアとして、Robot Operating System 2 (ROS2) の活用を推奨する。

(e3-1) ソフトウェア等**検証基盤技術**の開発（委託）
(省略)

(e3-2) ロボットソフトウェア**流通基盤技術**の開発（委託） **【今回の公募】**

<開発対象>

- ロボットソフトウェア流通基盤のトランザクション（登録、管理、検索・選択等の取引管理）に係る技術並びにソフトウェア評価基準・公開基準に係る技術
- (e3-1) で開発したソフトウェア等検証基盤技術や各種ツール等のロボットソフトウェア流通基盤への統合に係る技術
- 開発したロボットソフトウェア流通基盤の実証及び実証結果を踏まえた改善に係る技術

<開発目標>

- 開発したロボットソフトウェア流通基盤技術が国際的に比較して十分な優位性を有することを検証
※提案者にて、「現行比でN%以上の性能を達成できる」といった指標や目標値を提案時に設定すること。
- 開発したロボットソフトウェア流通基盤について、実際のユースケース及びユーザーによる実証を行い、技術的・経済的な有効性を検証
※技術的・経済的な有効性を検証するためのユースケース数、ユーザー数等の指標及び目標値を提案時に設定すること。

<応募条件>

- (e3-1) で開発したロボットソフトウェア流通基盤への統合のあり方を含むエコシステムの全体設計に準拠すること。
- 国内外の他のロボットソフトウェア流通基盤やオープンソースソフトウェアコミュニティとの連携を行うことができる体制であること。
- 可能な範囲でオープンイノベーションを推進するとともに、成果報告会やワークショップの開催等を行うこと。
- 開発したソフトウェア・ツール等について、事業終了後5年間は保守サポートできる体制であること。
- 事業成果の最大化のため、本事業で構築するソフトウェア流通基盤はユーザー企業等にも利用してもらい、そのフィードバックを得て更なる改善を行うこと。

2. 公募要領（事業内容）、公募対象

■ 事業内容

本開発テーマでは、ロボティクス分野において、スタートアップ等の多様な開発者の参入を促し、多彩なロボットシステムを創出することを可能とするソフトウェア開発基盤の構築に取り組みます。今回の公募では以下の開発を行います。

- ・ ロボットソフトウェア流通基盤のランザクション（登録、管理、検索・選択等の取引管理）に係る技術並びにソフトウェア評価基準・公開基準に係る技術
- ・ （e3-1）で開発したソフトウェア等検証基盤技術や各種ツール等のロボットソフトウェア流通基盤への統合に係る技術
- ・ 開発したロボットソフトウェア流通基盤の実証及び実証結果を踏まえた改善に係る技術

本事業の詳細については、経済産業省が公開する**ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業の研究開発計画**を参照してください。

参照：ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業 研究開発計画（令和8年8月31日改定）

<https://www.nedo.go.jp/content/800069522.pdf>

（改定される場合もありますので最新版を参照ください）

■ 公募対象：

対象：	①ポスト5G情報通信システムの開発（委託） （e）端末 （e3）ロボティクス分野におけるソフトウェア開発基盤構築（委託） （e3-2）ロボットソフトウェア流通基盤技術の開発（委託）
予算規模：	14億円以下（NEDO負担率：100%）
事業期間：	2026年度～2027年度

■ その他留意事項：

- (e3-1) において開発済み又は開発中のソフトウェア検証基盤技術や各種ツール等を、本開発テーマで開発するロボットソフトウェア流通基盤に連携・実装すると共に、本流通基盤がそれらソフトウェアの流通（登録、管理、検索・選択等の取引管理）およびそのユーザー支援において技術的に有効であることを検証すること。
- (e3-1) において開発済み又は開発中のアーキテクチャ・ガイドラインやソフトウェア評価基準・公開基準およびロボットソフトウェア流通基盤への統合のあり方を含むエコシステムの全体設計に整合するよう、(e3-1) と連携を図ること。詳細は、経済産業省、NEDOと調整の上、決定することとする。
- 本事業に関連して策定されるガイドライン、評価基準、公開基準及び標準化に係る検討に協力すると共に、経済産業省、NEDO及び関係業界団体等と協議の上、これらに整合した開発及び運用を行うこと。また、本事業成果の継続的な運営・普及を担う主体が設置された場合には、当該主体との連携及び成果の円滑な移管・供与に必要な協力を行うこと。
- 本事業で開発する流通基盤については、2027年9月頃に関係者に向けたテスト運用を開始、2028年3月に一般公開を念頭に置くこと。
- 国内外の他のロボットソフトウェア流通基盤やオープンソースソフトウェアのコミュニティとの連携を行うことができる体制であること。
- 可能な範囲でオープンイノベーションを推進するとともに、成果報告会やワークショップの開催等を行うこと。
- 開発したソフトウェア・ツール等について、事業終了後5年間は保守サポートできる体制であること。
- 事業成果の最大化のため、本事業で構築するソフトウェア流通基盤はユーザー企業等にも利用してもらい、そのフィードバックを得て更なる改善を行うこと。

2. 公募要領（応募要件）

応募資格のある法人は、次の1～10までの条件、「研究開発計画」に示された条件を満たす、単独ないし複数で受託を希望する、企業・大学等であることが必要です。ただし、研究機関等による単独提案は不可とし、国立研究開発法人が応募する場合、国立研究開発法人から民間企業への再委託又は共同実施（再委託先又は共同実施先へ資金の流れがないものを除く。）は、原則認めておりませんのでご留意ください。

1. 当該技術又は関連技術の研究開発の実績を有し、かつ、研究開発目標達成及び研究計画遂行に必要な組織、人員等を有していること。
2. 委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
3. NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。
4. 企業等が事業に応募する場合は、当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有していること。
5. 研究組合、公益法人等が応募する場合は、参画する各企業等が当該事業の研究開発成果の実用化・事業化計画の立案とその実現について十分な能力を有するとともに、応募する研究組合等とそこに参画する企業等の責任と役割が明確化されていること。
6. 複数の企業等が共同して事業に応募する場合は、実用化・事業化に向けた各企業等間の責任と役割が明確化されていること。
7. **本邦の企業・大学等で日本国内に研究開発拠点を有していること。なお、国外の企業・大学等（研究機関を含む）の特別な研究開発能力、研究施設等の活用又は国際標準獲得の観点から国外の企業・大学等との連携が必要な場合は、国外の企業・大学等も参画する形で実施することができる。**
8. 本事業は、安全保障貿易管理の観点から、海外への機微技術等流出・漏洩への対応として、輸出貿易管理令第4条第1項第三号イに規定する核兵器等の開発等の動向に関して経済産業省が作成した「外国ユーザーリスト」に掲載されている企業・組織等（以下「企業等」という。）又は国連の安全保障理事会の決議により武器及びその関連品等の輸出が禁止されている国（国連武器禁輸国・地域）（輸出貿易管理令別表第3の2）※2及び懸念3か国（輸出貿易管理令別表第4）に属する企業等が、提案書の実施体制に含まれている場合は、本事業の対象外とする。
9. 標準化に取り組むにあたり、グローバルに連携をして進めること。
10. 本事業の実施にあたっては、情報管理体制整備の一環として、技術流出防止措置を講じていただくべく、提案書とともに確認票を提出いただきます。情報管理体制整備の一環として、コア重要技術等を特定いただくとともに、当該コア技術等の流出を防止するために技術流出防止措置を講じていただきます。詳細は公募要領をご覧ください。

2. 公募要領（実施要件）

■ 実施要件

本事業は、採択後、業務委託契約を締結します。業務委託契約の締結にあたっては、最新の「業務委託契約約款」及び「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業に関する特別約款」を適用します。その他必要に応じて、特別約款の適用を求める場合があります。また委託業務の事務処理においては、NEDOが提示する事務処理マニュアルに基づき実施いただきます。

事業の実施にあたっては、該当する約款およびマニュアルを遵守いただくことが要件となります。

【参考】

● 委託事業の手続き：約款・様式

業務委託契約約款

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業に関する特別約款

https://www.nedo.go.jp/news/other/ZZIT_00034.html

● 委託事業の手続き：マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

なお、上記資料は提案受付期間に内容の更新を行う場合があります、最新版を適用するものとします。

採択後の事業費の支払についてはNEDOの事務処理マニュアルをご確認ください。

* 提案者の財務状況に応じては**支払方法に条件が付される場合**がございます。

* 「対象費用を研究開発開始時に一括で支払う」のような支払方法ではございません。

マニュアルで**支払時期等**をよくご確認いただき、提案書を作成してください。

2. 公募要領（スケジュール） 契約手続き

■ 選定スケジュール

2026年10月16日 正午	： 公募締切
締切後	： 公募事務局にて提案書類のチェックを実施します。 提案書類の確認後連絡させていただきますので対応可能な体制をお願いします。
2026年11月中旬（予定）	： 採択審査委員会（外部有識者による審査）
2026年12月上旬（予定）	： 契約・交付審査委員会
2026年12月上旬（予定）	： 採択先決定 採択に当たって条件（予算や体制の変更、経費の支払方法 等）を付す場合があります。
2026年12月上旬（予定）	： ウェブサイトに公表
2027年2月上旬（予定）	： 契約締結

※ 採択先決定後、速やかに契約手続きを進めると早期の契約締結が可能となります。
委託業務事務処理マニュアル等を参考にし、必要書類の早期提出にご協力ください。

■ 契約手続きに伴う提出書類について

- ・ 必要な書類や内容は、委託事業マニュアルを参照してください。
委託業務事務処理マニュアル
- ・ 特に以下の文書を精緻に書いていただくことがポイントです。
実施計画書（本文、事業化計画書）
積算用総括表にある項目別明細表、研究体制表（登録研究員など）

3. 提出書類

■ 提出書類

提出書類	ファイルタイプ
別添1：提案書	PDF
別添2：研究開発責任者の研究経歴書	PDF
別添3：提案者情報	Excel
別添4：NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票	PDF
別添5：PMS利用申請_事業者情報	Excel
別添6：提案概要	PDF
様式：積算用総括表	Excel
直近の事業報告書 直近3年分の単体／連結財務諸表（原則、円単位）（※）	PDF
提出書類のチェックリスト	PDF

- ・ 独自様式を用いないこと。
- ・ 提出書類は日本語で作成してください。
- ・ 「応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- ・ 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となることもあります。

各種様式は公募ページからダウンロードください。

- （*1）「提案概要」について、本資料は提案が採択された際に経済産業省・NEDOのウェブサイト等で公表する場合がございます。非公開情報を含まないようにご注意ください。
- （※）財務諸表には、「貸借対照表」、「損益計算書（製造原価報告書（製造業等の場合）、販売費及び一般管理費明細書を含む）」、「株主（社員）資本等変動計算書」を含めてください。「株主（社員）資本等変動計算書」については、会社法で定める株式会社、合同会社、合資会社及び合名会社に該当する場合にのみ提出ください。
- （※）直近の事業報告書や単体／連結財務諸表をWebページ上で公表している場合には、その公表URLを「別添3：提案者情報」中に明記する形でも可とします。連結財務諸表は作成している場合のみ、提出してください。
- （※）委託先・共同研究先分の事業報告書及び財務諸表の提出は不要です。
- （※）なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出や代表者面談を求める場合があります。また、提案者の財務状況によっては、追加的に親子会社、関係会社等や委託先・共同研究先に対しても財務関連資料の提出を求める場合があります。（※）法人が設立されたばかりで財務諸表が3年分存在しない場合は、設立年度から直近までの財務諸表を提出してください。

3. 提出書類

■ 積算用総括表

提案書内に各種総括表・項目別明細表を貼り付けるとともに様式2：積算用総括表エクセルファイルをご提出ください。
 委託先事の再委託費及び共同実施費の合計額は、原則として委託先の全体額の50%未満とします。

委託先総括表（一般事業者用）				
<2>委託先／研究分担先／分室総括表 委託件名：……技術開発 ●●●●株式会社				
〈単位：円〉				
項目	事業期間全体	N1年度	N2年度	N3年度
I. 機械装置等費	0	0	0	0
1. 土木・建築工事費	0			
2. 機械装置等製作・購入費	0			
3. 保守・改修修理費	0			
II. 労務費	0	0	0	0
1. 研究員費	0			
2. 補助員費	0			
III. その他経費	0	0	0	0
1. 消耗品費	0			
2. 旅費	0			
3. 外注費	0			
4. 諸経費	0			
小計(I + II + III)	0	0	0	0
IV. 間接経費	0	0	0	0
V. 再委託費・共同実施費	0			
合計(I + II + III + IV + V)	0	0	0	0
消費税及び地方消費税	0	0	0	0
総計	0	0	0	0
＊うちNEDO負担額	0	0	0	0
＊うちNEDO負担消費税等額	0	0	0	0
<＊NEDO負担割合 1/1>				

項目別明細表（一般事業者用）				
(4) ●●●●株式会社 項目別明細表(N1年度)				
積算基壇(円)				積算額(千円)
I. 機械装置等費				0
1. 土木・建築工事費	○土木・建築工事費 @	円 × H =	0	0
2. 機械装置等製作・購入費	○製作設計費 @	円 × H =	0	0
	○製作加工費 @	円 × H =	0	0
	○試験装置一式	=		
	○評価装置一式	=		
	○作成装置一式	=		
3. 保守・改修修理費	○装置改修費一式	=		0
	○装置保守費一式	=		
II. 労務費				0
1. 研究員費	@	円 × H =	0	0
	@	円 × H =	0	0
2. 補助員費	@	円 × 日 =	0	0
III. その他経費				0
1. 消耗品費	○消耗品一式	=		0
	○実験器具一式	=		
2. 旅費				0
(1) 研究員旅費	国内旅費一式	=		
	海外旅費一式	=		
(2) 有識者(専門家)旅費	海外旅費一式	=		
3. 外注費	○ソフト製作外注	=		0
4. 諸経費				
(1) 機械リース料	@	円 × ヶ月 =	0	
(2) 委員会費	委員謝金一式	=		
	委員旅費一式	=		
(3) 報告書等作成費	電子ファイル作成一式	=		
IV. 間接経費((I + II + III) × 10%)		0円 × 10% =	0	0
①小計(I + II + III + IV)				0
②小計(①, 円)				0
③消費税及び地方消費税(円)				0
合計(② + ③)				0
積算基壇(円)				積算額(円)
V. 再委託費・共同実施費				0
1. 再委託費	株式会社□□	=		0
	国立大学法人◇◇大学	=		
2. 共同実施費	学校法人▽▽大学	=		0
④消費税及び地方消費税				0
合計(V + ④)				0
合計(② + V)				0
消費税及び地方消費税(③ + ④)				0
総計(円)				0

【ご留意いただきたい事項】

提出いただいた書類等に不正もしくは虚偽の情報が含まれ、本事業の実施、事業化を進めるにあたり悪影響があると判断された場合は、ご提案が採択された場合でも、**契約の解除及び過払金及び違約金の返還請求等**を行わせていただくことがございます。提出いただく資料の内容は十分にご確認をお願いいたします。

4. 応募方法

電子申請システム「**Jグランツ**」を利用して応募していただきます。

- ・ **代表法人の方が必要情報の入力と提出書類のアップロードを行ってください。**
- ・ 代表法人、共同提案法人の双方から同一の提案をされる方がいますが、**必ず代表法人の方のみが応募**を行ってください。
- ・ 応募には**GビズIDの取得が必須**です。取得には2週間以上かかる場合もあるため、**未取得の方はすぐに申請**ください。
- ・ なお、「**Jグランツ**」以外での提出は、**応募者の責に依らない理由によりNEDOが認めた場合を除き、原則受け付けません。**

【参考】NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について

https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html

【提出にあたっての留意事項】

- ① **提出書類は全て日本語で作成**してください。
- ② 「**応募要件**」を満たさない提出書類、または、**不備がある提出書類は受理できません。**
- ③ **提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は提案を無効**とさせていただきます。受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- ④ **Jグランツ上の申請は、提出期限を厳守**ください。提出期限までに申請完了できなかった場合は、応募は受け付けできませんので、余裕をもって提出してください。
- ⑤ 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。**再提出を希望される場合は、NEDOでの差戻しが必要になりますのでメールにて「申請番号」を添えてご連絡ください。** 送信先：**robo-pla-ryutsu[*]nedo.go.jp**
(上記アドレスの[*]を@に変えて使用してください。)
- ⑥ 万が一、**応募者の責に依らない理由**（例：組織形態上、GビズIDの取得がそもそも不可でJグランツが利用できない、Jグランツ等の外部システムの障害発生により申請ができない等）**により、提出期限までにJグランツ上の申請が困難な場合には、提出期限前までに必ずNEDO担当者まで連絡し、NEDO担当者の指示に従ってください。**
- ⑦ Jグランツ上にアップロードするファイルは提出書類毎に作成し、**一つのzipファイルにまとめてください。**なお、アップロードするファイル（PDF、zip等）には**パスワードは付けないでください。Zipファイルのサイズは30MB以下を推奨します。**
- ⑧ アップロードされたファイルにおいて、ウイルス検知又はその疑い等があると当機構が判断した場合は、調査のため第三者へファイルの提供を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ⑨ **公正な審査を行うための利害関係の確認として、Jグランツ上で必要事項の入力を求めていますので、あらかじめご了承ください。**

- 応募〆切

- **2026年10月16日(金) 正午まで に 申請(アップロード)完了**

※資料アップロードに時間がかかる場合があるため、余裕をもってご準備ください。
提出期限を過ぎた提案は受け付けません。
公募要領を別紙も含めてよく読んで応募してください。

- 問い合わせ先

- NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）

AI・ロボット部 土井、渡会、谷埜

電子メール：[robo-pla-ryutsu\[*\]nedo.go.jp](mailto:robo-pla-ryutsu[*]nedo.go.jp)

(上記アドレスの[*]を@に変えて使用してください)

問い合わせ受付は 2026年10月14日(水)17時まで とさせていただきます。

EoF